

県外派遣報告書

審判員名	小泉 登	所属	ミニバスケット連盟
大会名	第37回関東ミニバスケットボール大会		
期間	平成28年1月9日(土)～11日(月)		
会場	ひたちなか市総合運動公園体育館・水戸市青柳公園市民体育館		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
1月9日(土)	審判会議	ホテル クリスタルパレス	
1月10日(日)	予選リーグ	ひたちなか市総合運動公園体育館	
1月11日(月)	決勝リーグ	水戸市青柳公園市民体育館	
会議 講義 内容			
<p>講師 茨城県バスケットボール協会審判委員長 稲葉 威 氏 茨城県バスケットボール協会審判副委員長 山田 健一 氏 茨城県バスケットボール協会指導委員長 一色 渉 氏</p> <p>講義 茨城県バスケットボール協会指導委員長 一色 渉 氏</p> <p>～良い判定をする為に必要なことは～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メカニクスの理解 ・判定基準 ・4原則の活用 ・TOとの協力 <p>①ゲーム中に示すべき判定基準の確立は出来ているか？ →まずはルールを正しく理解すること→理解して判定をする→ヴァイオレーション・ファール(スクリーンプレイ・インサイドプレイ等)</p> <p>②試合の早い段階で判定の基準を示せているか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早い段階とは、そのプレイがゲームで最初に起こった時。 ・判定基準とは、そのゲームのスタンダード(厳しく入ることだけでなくゲームに合わせる。質が悪いものはしっかりと判定する。チープな笛は吹かない。) <p style="text-align: center;">↓</p> <p>それが公平・公正・一貫性に繋がる。</p> <p>下記の概念の理解が判定をするうえで非常に重要</p> <p>※シリンダーの概念 第33条 条文の説明 →ブロックショットをどのように見極めていくか・空間位置の占めることを判定する・真上の権利映像を使用しての解説</p> <p>※リーガルガーディングポジション 第33条 条文の説明</p> <p>※スクリーン 条文の説明</p> <p>判定の原則→シリンダー・リーガルガーディングポジション</p> <p>ノーマルバスケットボールポジションを外れた手やひじ、腰の使い方は</p> <p>まとめ プレイを瞬間でもみても判定は出来ない。 2人の協力視野の分担 プレイを判定すべきレフリーがどこからプレイの始まりを見ていたかが重要。 自分の判定基準を確立する事により、ゲームの入りがスムーズになる。</p>			

実技				
担当試合	期 日	1月10日(日)	男子 女子	
	対戦カード	旭東 VS 藤沢本町	主審	副審
	相手審判	大網 康志 氏(千葉)		
ミーティング内容		主任 稲葉 威 氏(本部)		
<p>全体を通して、スムーズに試合を終わらせることが出来て良かった。 試合としても、強いチームが勝ち、審判が邪魔をせずに選手が決着をつけられた。 その中で、より良い判定をする為に、マニュアルにこだわり過ぎず、危険な場所を見に行くことをしたほうが良い。また、もっと全体を把握して、チープな笛・いらぬ笛を無くせるように、取り組んで欲しい。</p>				
担当試合	期 日	1月10日(日)	男子 女子	
	対戦カード	桐生神明 VS 菅谷東	主審	副審
	相手審判	廣瀬 涉 氏(東京)		
ミーティング内容		主任 武藤 直美 氏(茨城)		
<p>1試合を通して、笛を鳴らすことが少なかった。もっと、相手審判が捉えているプレイを感じて、判定をしていくべきであった。もっと判定に関して、自分自身の基準をしっかりと表現していけたのではないか。 廣瀬氏より、選手に期待し過ぎているため、質として悪いプレイも続けさせてしまう傾向がある。もっと悪いプレイは早く摘み取らないと、レベルやカテゴリーが上がると、苦しくなってしまう。明確な基準をもち、最後に何も無く試合を終わらせられるようにしていったほうが良いと、アドバイスを頂いた。</p>				
担当試合	期 日	2016/1/11	男子 女子	
	対戦カード	リトルスターズ VS 敷島北	主審	副審
	相手審判	一色 涉 氏(本部)		
ミーティング内容		主任 宇田川 晶彦 氏(神奈川)		
<p>ステイしてプレイを追っている事があるので、もっとプレイに対して、細かい動きをしたほうが良い。それが良い判定に繋がっていく。 判定に一貫性を持たせるには、同じプレイには両チームに公平公正に取り上げる。それには、見え方の工夫をしなければいけなく、位置取りをもっともっと考えるべきである。</p>				
担当試合	期 日	2016/1/11	男子 女子	
	対戦カード	山中湖東 VS みのり	主審	副審
	相手審判	長井 章 氏(神奈川)		
ミーティング内容		主任 一色 涉 氏(本部)		
<p>プレイを見ていないわけではないが、判定に弱い部分がある。もっともっとプレイに対して、判定する意識をもった方が良い。その為には、状況をしっかり把握して、プレイヤー・チームが何をするかを感じ、より良い場所を探し、プレイを長く見るようにするべきである。</p>				
全体の感想				
<p>今大会では、上級の方と担当する試合や、講評を頂く事が多くあり、新たに知ることがたくさんありました。その為、いつもと違った角度から審判を考えることができました。非常に充実した大会となりました。自分が思い描いているレフリングと、実際のオンザコートにはズレがあり、課題の多さを改めて感じました。日々の活動の中で、もっと色々な事を意識しながらレフリングを行おうと思います。 最後になりますが、山野辺関東ブロック長をはじめ、茨城県の方々には3日間大変お世話になりました。ありがとうございます。また、関東ミニバスケットボール大会に派遣して頂いた、埼玉県の方に感謝いたします。この大会で得た事を埼玉県の連盟の方に伝えていこうと思います。</p>				